

サイエンスダイアログ「英語による科学の講義」

11月21日、理数科2年生を対象に「英語による科学の講義」が行われました。講師を務めてくださったのは、建築工学における不確定性の研究をされているLI博士(中国国籍)です。LI先生の専門は、「認識論的不確定性を考慮した構造物地震時応答制御用エネルギー吸収デバイスの最適設計」です。



テーマ：「Understanding of Uncertainties
Rooted in Engineering Structures」
東北大学災害科学国際研究科 Dawei LI (博士)

LI先生の研究内容はとても難しく、講義すべてが英語だったこともあり、十分に理解できたとはいえ部分もありましたが、母国の文化や学んでいた大学の様子の紹介や、スライドでグラフや図を多く示してくださったおかげで、楽しく講義を受けることができました。また、熱心にメモを取り、不確定性について理解しようと取り組む生徒たちの姿が印象的でした。講義後には、講義補助者として同行してくださった同大学教授の五十子先生から不明瞭な部分を簡単に説明していただき、建築構造の精巧さや確実性の考慮の重要性について深く考えさせられた講義でした。また、講義の後には、LI先生に英語で質問するなど活発な時間となりました。

今回の講義では、司会、講師紹介、謝辞などすべて英語でおこないました。また、事前学習では英語の講義概要を日本語に要約したり、事後レポートを英語で書いたりしました。なかなか大変だったと思います。しかし、多くの生徒から「また、英語での講義を受けたい」という感想が多く寄せられ、「自分の英語力をもっと高めたい」「英語が非母国語の方の英語を聴く経験は、大学に行ってから役に立つと思う」などの感想もありました。

3年生になると、こうした英語での活動が増え、さらにレベルアップする予定です。今日の経験から、英語の必要性だけでなく、コミュニケーションツールとしての英語がこれからのみなさんの可能性を広げることを実感してくれたのではないのでしょうか。

